

## ～伐期を迎えた府内森林資源の循環利用促進～

### 京都府産木材の需給情報を共有する仕組み

#### <想定される機能>

- 需要・供給情報の標準フォーマットの整備  
—情報の精度、鮮度、シンプルさに留意
- 情報収集と共有するシステムの作成・運営  
—木材の質と量に関する情報の取扱い
- 情報に基づくマッチングの支援、需給調整  
—計画数量の達成を促す仕組みの検討

#### 需要情報の提供

<大口需要先>  
樹種、径級、曲がり（規格）、量の情報

中長期的な計画に基づく需要量

<小口需要先>  
利用者が望む木材（認証材等）、特殊材の情報

短中期的な計画に基づく需要量

#### 森林情報の提供 生産現場情報の提供

<森林情報>  
最新技術を用いて取得された高精度の森林資源情報

<生産現場情報>  
森林経営計画、伐採前の現地調査の情報

マッチング  
支援  
需給調整

#### 木材加工業者

製材工場（小口）

（大口）合板工場

（大口）チップ工場

（大口）CLT用ラミナ製材工場

需要量：約 47 万m<sup>3</sup>  
府内産：約 14 万m<sup>3</sup>（シェア30%）

需要・供給情報の共有による  
京都府産木材の安定供給

#### <需給調整機能の役割分担>

木材市場：小口需要先向けの木材  
ストックヤード：大口需要先向けの木材

#### 放置森林

市町村

協定

施業委託

連携

間伐（森林組合）

主伐（素材業者）

低コスト化

森林組合  
木材生産業者

所有者A

所有者B

所有者C